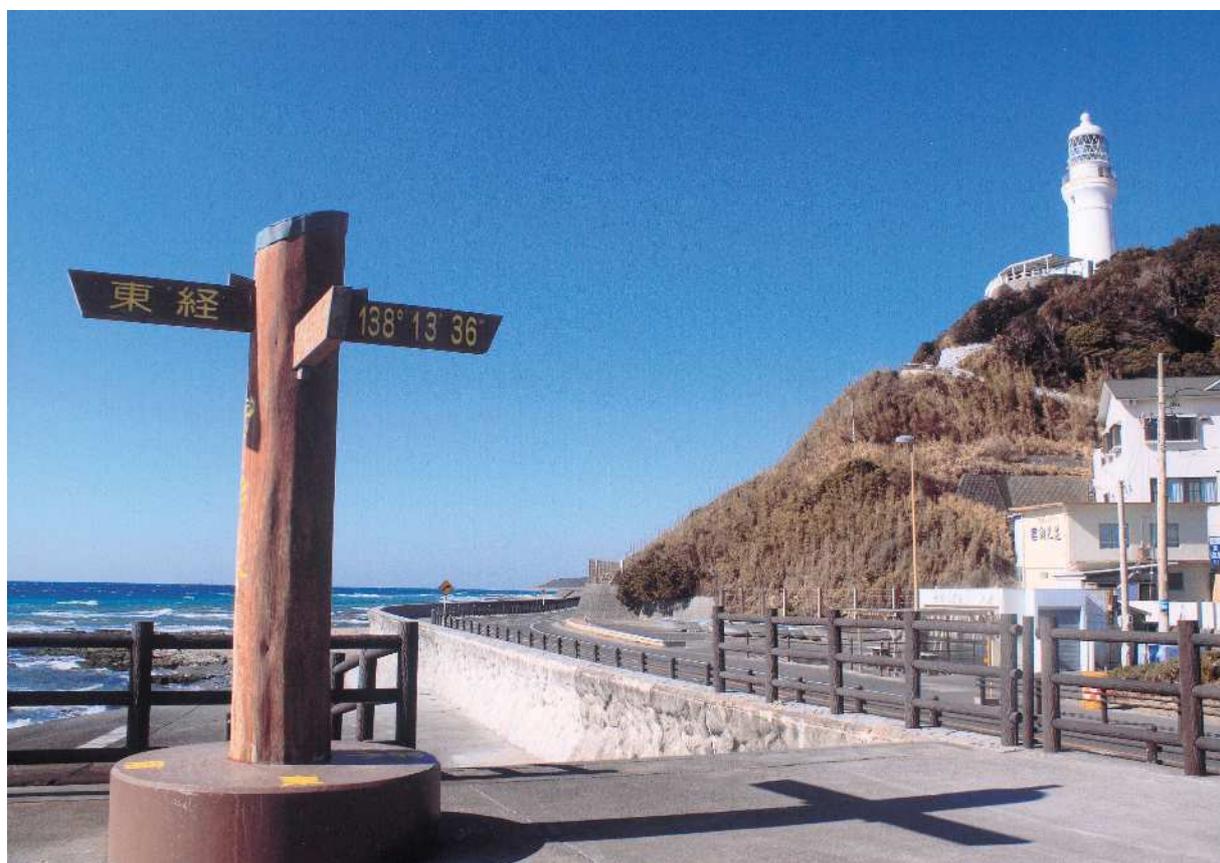


御前崎市環境報告書

2023（令和5）年度実績



御 前 崎 市

目 次

第 2 次御前崎市環境基本計画	1
1 第 2 次環境基本計画とは	2
2 温室効果ガス排出量の削減目標と現状	3
3 計画の全体像	4
4 環境基本計画の進捗状況（2023 年度の実績）	5

第2次御前崎市環境基本計画

御前崎市地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)

第2次環境基本計画とは



■ 深刻化する環境問題の解決に向けて

御前崎市は、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など豊かな自然環境に恵まれ、その恵みを受けながら地域固有の文化を大切に守り育ててきました。

しかしながら、近年では社会経済活動の拡大、生活様式の変化などに伴い、生活雑排水による水質汚濁や自動車からの排気ガスなどの公害、身近な自然の減少などの問題が顕著になってきています。

私たちは、この自然環境に恵まれた中で住みよい生活を確保するため、環境への負荷の少ない持続可能な社会を構築しなければなりません。



最近では猛暑や集中豪雨など、地球温暖化が原因と考えられる自然災害が増えています。

社会情勢や環境政策の方向性が大きく変化しています！

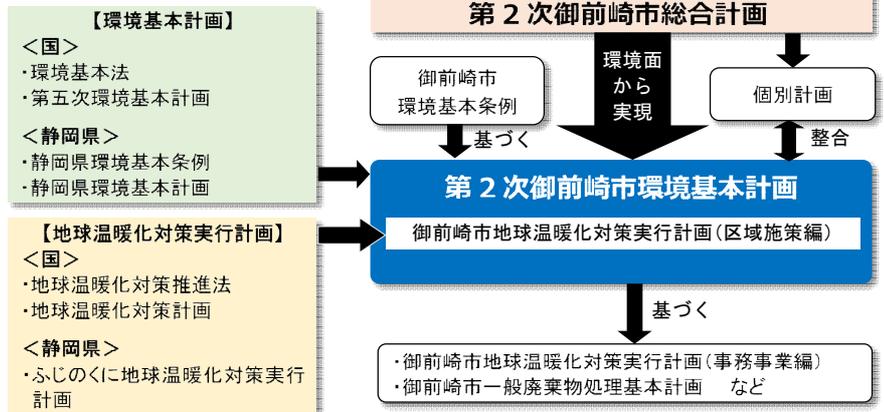
- ✓ 省エネルギーや再生可能エネルギーへの関心の高まり
- ✓ 国連の持続可能な開発目標（SDGs）の浸透
- ✓ 地球温暖化対策の新たな枠組みである「パリ協定」の採択・発効
- ✓ 廃プラスチック問題、食品ロスへの関心の高まり など



■ 総合計画を環境面から推進

本計画の目的は、環境施策を総合的かつ計画的に推進するため、望ましい環境のあり方や、市民・事業者・滞在者・行政（市）の取り組みを明らかにすることです。

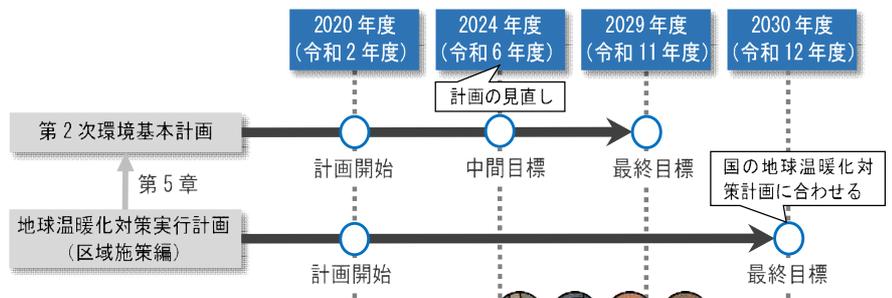
また、本計画は、「御前崎市環境基本条例」、「地球温暖化対策推進法」に基づく計画であるとともに、「御前崎市総合計画」を環境面から推進するものとして位置付けています。



■ 10年後を見据えた計画

計画期間を2020（令和2）年度から2029（令和11）年度までの10年間とし、2024（令和6）年度に見直しを行います。

「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の目標年度は、国の「地球温暖化対策計画」の目標年度と合わせて2030（令和12）年度とします。



■ みんなの連携・協力が不可欠

本計画を推進していくためには、市・市民・事業者・滞在者の各主体がそれぞれの役割を果たし、お互いに連携・協力していくことが必要です。



温室効果ガス排出量の削減目標と現状



1-1 削減目標

本区域施策編では国の削減目標に合わせて、2013（平成 25）年度を基準とし、中期目標として2030（令和 12）年度に26%削減、長期目標として2050（令和 32）年度に80%削減という目標を設定します。



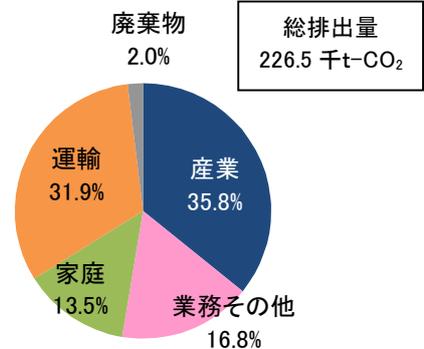
1-2 2021（令和 3）年度の排出量と推移

本市における2021（令和 3）年度の温室効果ガス排出量は226.5千t-CO₂でした。

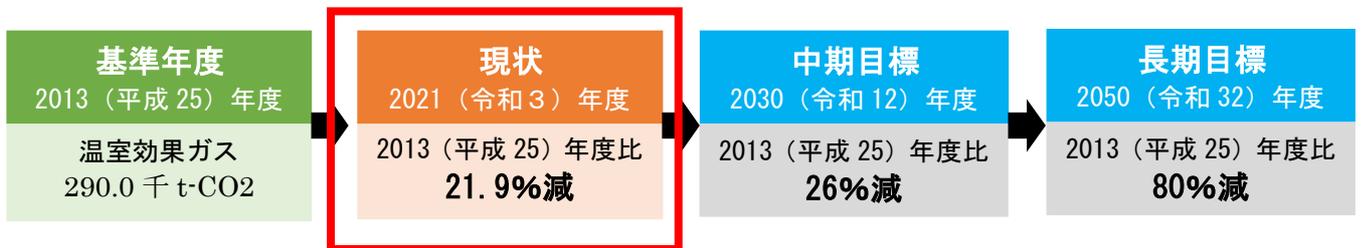
部門・分野別にみると、産業部門が35.8%を占めており、次いで輸部門（31.9%）、業務その他部門（16.8%）、家庭部門（13.5%）となっています。

基準年度である2013（平成 25）年度からの推移をみると21.9%減少しています。部門・分野別では、基準年度より増加しているのは廃棄物分野であり、その他の部門では減少傾向にあります。

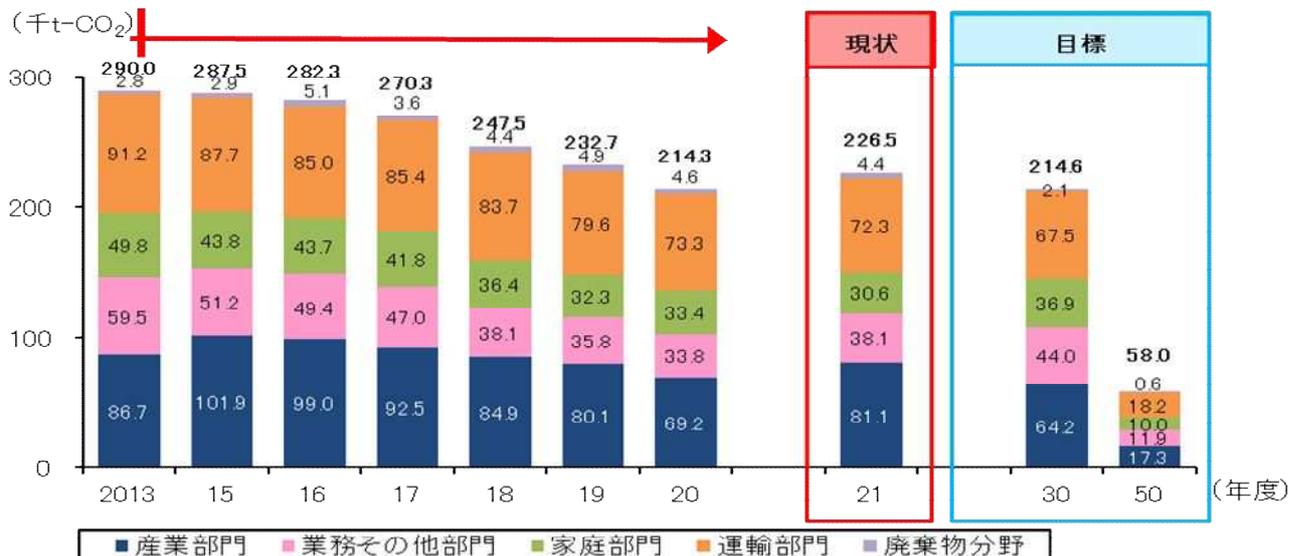
御前崎市の市域からの温室効果ガス排出量（2021（令和 3）年度）



※環境省公表最新数値：令和 3 年度



※国の目標値が引き上げられており、今後市の目標値も見直しを予定していることから、更なる取り組みの加速化が求められている。



御前崎市の市域からの温室効果ガス排出量 【資料：環境省・地方公共団体実行計画策定・支援サイト】

計画の全体像



望ましい環境像の実現に向けて、総合的かつ計画的に取り組みを推進しています。

本計画の上位計画である「第2次御前崎市総合計画」の将来都市像は、「子どもたちの夢と希望があふれるまち 御前崎」であり、この将来都市像を環境面から実現するため、「**守ろう 豊かな自然 創ろう 次世代へつなぐまち 御前崎**」を望ましい将来像として掲げます。

望ましい環境像	環境目標	取り組みの方向	取り組み項目
守ろう 豊かな自然 創ろう 次世代へつなぐまち 御前崎	【環境目標1】 自然環境の保全と 生物多様性の確保	1 きれいな海と川をまもる	①海岸の総合的な環境保全 ②海岸林・海岸植生の保全 ③海岸・河川の美化 ④水産資源の保全・活用 ⑤水資源の保全
		2 緑豊かな森林と農地を まもる	①森林・樹木の保護 ②森林の適正管理と木材の利用促進 ③計画的な農地の保全と基盤の整備 ④遊休農地の活用 ⑤地産地消及び環境保全型農業の推進
		3 多様な生きものと 共生する	①野生動植物の保護・管理 ②外来種等の防除及び飼養動物の適正管理
	【環境目標2】 快適環境の保全と創造	4 自然・景観・歴史に親しむ	①自然とのふれあいの促進 ②良好な景観形成の推進 ③歴史・文化的遺産の保護及び継承
		5 公園・緑地をまもる	①公園・緑地の整備と適正管理及び促進 ②緑化の推進
	【環境目標3】 安全・安心な 生活環境の保全	6 公害を防ぐ	①公害の防止 ②有害化学物質対策の推進
		7 空気や水をきれいにする	①大気汚染対策の推進 ②悪臭・騒音・振動対策の推進 ③水質汚濁対策の推進
	【環境目標4】 資源の循環利用	8 ごみの減量とリサイクルを すすめる	①計画的な廃棄物対策と適正処理 ②リデュース・リユースの推進 ③リサイクルの推進 ④グリーン購入の推進 ⑤不法投棄対策の推進 ⑥環境美化の推進
	【環境目標5】 地球環境の保全	9 地球温暖化を止める	①総合的な地球温暖化対策・エネルギー 対策の推進 ②省エネルギーの推進と再生可能 エネルギーの導入・促進 ③環境負荷の少ない交通の普及
	【環境目標6】 環境教育・ 環境保全活動の推進	10 環境を知る・学ぶ・ 活動する	①環境教育・環境学習 ②環境保全活動の推進 ③環境情報の積極的な提供と環境情報拠 点づくり



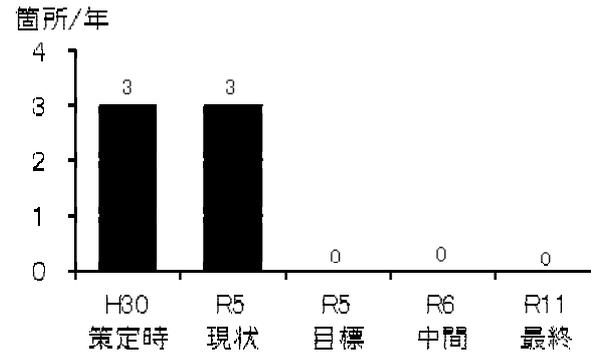
1 きれいな海と川をまもる

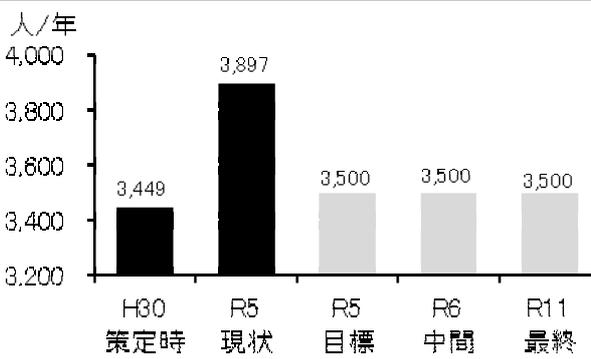
■ 数値目標と評価

環境指標	ウミガメ指定地域・海岸清掃ボランティア数			人/年
定義	ウミガメ指定地域の海岸清掃に参加したボランティアの人数			
数値目標	H30	策定時	152 人/年	
	R5	実績	501 人/年	
		目標	359 人/年	
		評価	目標達成: 達成率 139.7%	
	R6	中間目標	400 人/年	
R11	最終目標	600 人/年		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	学校行事での美化活動や市内団体の協力もあり、目標を達成することができた。			

環境指標	海岸清掃・緑の少年団参加者数			人/年
定義	海岸清掃に参加した緑の少年団の人数			
数値目標	H30	策定時	300 人/年	
	R5	実績	0 人/年	
		目標	300 人/年	
		評価	★: 達成率 0%	
	R6	中間目標	300 人/年	
R11	最終目標	300 人/年		
担当課	農林水産課			
R5 評価コメント	新型コロナウイルス感染症対策のため海岸清掃を中止した。			

環境指標	海岸林整備・ボランティア参加者数			人/年
定義	海岸林を整備したボランティアの人数			
数値目標	H30	策定時	170 人/年	
	R5	実績	146 人/年	
		目標	200 人/年	
		評価	★★: 達成率 73.0%	
	R6	中間目標	200 人/年	
R11	最終目標	200 人/年		
担当課	農林水産課			
R5 評価コメント	4つの地区でボランティア植樹事業を実施したが、新型コロナウイルス感染症対策で人数制限をした以降は参加人数が伸び悩んでいる。			

環境指標	海岸部への不法投棄箇所数			箇所/年 
定義	不法投棄防止パトロールにより発見報告された不法投棄箇所数(海岸部)			
数値目標	H30	策定時	3箇所/年	
	R5	実績	3箇所/年	
		目標	0箇所/年	
		評価	★:達成率0%	
	R6	中間目標	0箇所/年	
R11	最終目標	0箇所/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	海岸で拾ったゴミを集めておいている事例が多い、基本的に拾った人が最後まで処分するべきであるため、啓発をしていく。			

環境指標	河川愛護参加人数			人/年 
定義	河川の清掃活動等に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	3,449人/年	
	R5	実績	3,897人/年	
		目標	3,500人/年	
		評価	目標達成:達成率111.3%	
	R6	中間目標	3,500人/年	
R11	最終目標	3,500人/年		
担当課	建設課			
R5 評価コメント	河川愛護精神の向上により、愛護活動に参加する人数が増加したため、目標を達成することができた。			

【評価(4段階)】 令和5年度の実績対目標

★:達成率0~49%、★★:達成率50~79%、★★★:達成率80~99%、目標達成 :達成率100%以上



2 緑豊かな森林と農地をまもる

■ 数値目標と評価

環境指標	松食い虫被害海岸林・予防面積			ha/年
定義	松食い虫等による枯れ松の被害面積			
数値目標	H30	策定時	55ha/年	
	R5	実績	55ha/年	
		目標	55ha/年	
		評価	目標達成: 達成率 100.0%	
	R6	中間目標	55ha/年	
R11	最終目標	55ha/年		
担当課	農林水産課			
R5 評価コメント	例年どおり 55ha にわたって薬剤空中散布を行い、松枯れの防止に努めた。			

環境指標	エコファーマー認定者数			人
定義	県より認定を受けた農業者の人数			
数値目標	H30	策定時	30 人	
	R5	実績	2 人	
		目標	33 人	
		評価	★: 達成率 6.1%	
	R6	中間目標	33 人	
R11	最終目標	36 人		
担当課	農林水産課			
R5 評価コメント	農業者からは、認定のメリットが感じられないとの声がある。(令和4年度末で新規認定終了済み)			

環境指標	遊休農地面積			ha/年
定義	現在、遊休している農地面積			
数値目標	H30	策定時	607ha/年	
	R5	実績	520ha/年	
		目標	452ha/年	
		評価	★★: 達成率 56.1%	
	R6	中間目標	421ha/年	
R11	最終目標	266ha/年		
担当課	農林水産課			
R5 評価コメント	非農地化の推進や荒廃農地対策の補助金、所有者による保全管理により荒廃農地が減少している。			

環境指標	地域で守る農地面積			ha/年
定義	現在、耕作されている農地面積			
数値目標	H30	策定時	103ha/年	
	R5	実績	467ha/年	
		目標	184ha/年	
		評価	目標達成: 達成率 253.5%	
	R6	中間目標	200ha/年	
R11	最終目標	200ha/年		
担当課	農林水産課			
R5 評価コメント	基盤整備事業や担い手等への集積が進み、耕作地が増加した。			

環境指標	学校給食で使用する食材の地産地消率			%/年
定義	学校給食で使用する食材の地産地消率			
数値目標	H30	策定時	26.5%/年	
	R5	実績	23.6%/年	
		目標	30.3%/年	
		評価	★★: 達成率 69.6%	
	R6	中間目標	31.0%/年	
R11	最終目標	33.0%/年		
担当課	学校給食センター			
R5 評価コメント	市内産食材の使用率が前年度よりは増加しているが、目標値は達成していない。			

【評価(4段階)】 令和5年度の実績対目標

★: 達成率 0~49%、★★: 達成率 50~79%、★★★: 達成率 80~99%、目標達成 : 達成率 100%以上



3 多様な生きものと共生する

■ 数値目標と評価

環境指標	アカウミガメふ化率			
定義	アカウミガメが産卵した卵の割合			
数値目標	H30	策定時	37.8%/年	
	R5	実績	32%/年	
		目標	39%/年	
		評価	★★★:達成率 81.5%	
	R6	中間目標	40%/年	
R11	最終目標	50%/年		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	アカウミガメの上陸・産卵頭数、産卵個数及びふ化頭数は昨年よりも半分以下と大幅に減少し、気温の上昇などの影響によりふ化率も減少している。			

環境指標	飼い猫・地域猫の避妊去勢手術件数			
定義	猫の避妊去勢手術を実施した件数			
数値目標	H30	策定時	1,528 件	
	R5	実績	1,903 件	
		目標	2,005 件	
		評価	★★★:達成率 94.9%	
	R6	中間目標	2,100 件	
R11	最終目標	2,600 件		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	昨年度よりも実施件数が増え、飼養動物の適正管理について意識が高まっているが、目標を達成には至らなかった。			

【評価(4段階)】 令和5年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上



4 自然・景観・歴史に親しむ

■ 数値目標と評価

環境指標	里山地区観光客数			
定義	市内に観光に訪れた人数			
数値目標	H30	策定時	484,586 人	
		実績	496,972 人	
	R5	目標	528,598 人	
		評価	★★★:達成率 94.0%	
	R6	中間目標	537,400 人	
R11	最終目標	570,400 人		
担当課	商工観光課			
R5 評価コメント	海を活かした観光交流客数にはまだ及ばないが、豊かな自然環境の景観を活かした観光振興を今後とも図っていく。			

環境指標	指定文化財数			
定義	指定文化財に登録されている数 ※保護審の答申に基づき指定			
数値目標	H30	策定時	32 件	
		実績	35 件	
	R5	目標	35 件	
		評価	目標達成:100%	
	R6	中間目標	35 件	
R11	最終目標	38 件		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	令和 4 年度に新たに市指定有形文化財「木織宣長像自賛(掛軸)」が指定された時点で目標を達成した。			

環境指標	文化財案内板設置数			
定義	文化財の場所や内容を案内している看板の設置数			
数値目標	H30	策定時	89 基	
		実績	90 基	
	R5	目標	92 基	
		評価	★★★:達成率 97.8%	
	R6	中間目標	92 基	
R11	最終目標	95 基		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	突風の影響により、「萬葉の歌碑」の看板が飛ばされて破損してしまったことにより、案内看板が 1 基減少したため、目標を達成できなかった。			

【評価(4段階)】 令和 5 年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上



5 公園・緑地をまもる

■ 数値目標と評価

環境指標	グリーンバンク申請団体数			団体/年
定義	グリーンバンクに申請している団体の数			
数値目標	H30	策定時	55 団体/年	
		実績	54 団体/年	
	R5	目標	55 団体/年	
		評価	★★★:達成率 98.2%	
	R6	中間目標	55 団体/年	
R11	最終目標	55 団体/年		
担当課	管理課			
R5 評価コメント	団体構成員の高齢化により申請数が減少傾向にあるため、新規団体の勧誘に努めている。			

環境指標	ガーデンシティ事業参加数			団体/年
定義	用途区域内の環境美化活動(ガーデンシティ事業)に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	5 団体/年	
		実績	5 団体/年	
	R5	目標	5 団体/年	
		評価	目標達成:100%	
	R6	中間目標	5 団体/年	
R11	最終目標	5 団体/年		
担当課	都市政策課			
R5 評価コメント	目標値を達成したため、今後も事業の継続のため支援に努めていく。			

【評価(4段階)】 令和5年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上



6 公害を防ぐ

■数値目標と評価

環境指標	公害苦情件数 (大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭)			
定義	市に寄せられた公害苦情の件数			
数値目標	H30	策定時	13 件/年	
	R5	実績	9 件/年	
		目標	0 件/年	
		評価	★:達成率:30.8%	
	R6	中間目標	0 件/年	
R11	最終目標	0 件/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	悪臭に関する苦情の割合が多く、長年の問題として取り組んでいる事例がある。他の苦情については例年と同等の件数となっている。			

環境指標	公害防止協定(環境保全協定)締結社数			
定義	市と公害防止協定(環境保全協定)を締結している事業所の数			
数値目標	H30	策定時	40 件	
	R5	実績	42 件	
		目標	42 件	
		評価	目標達成:100%	
	R6	中間目標	42 件	
R11	最終目標	45 件		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	令和5年度は新たに1件、環境保全協定を締結した。			

【評価(4段階)】令和5年度の実績対目標

★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上



7 空気や水をきれいにする

■数値目標と評価

環境指標	臭気指数による基準値超過地点数			地点 5 4 3 2 1 0
定義	臭気指数が基準値を超過した地点数			
数値目標	H30	策定時	4 地点/年 (測定地点 7 地点)	
		R5	実績	
	R5	目標	0 地点/年	
		評価	★: 達成率 0%	
		R6	中間目標	
R11	最終目標	0 地点/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	測定地点数については、6 箇所から 7 箇所へと変更している。新規に追加された箇所についても基準値を超過している。			

環境指標	市内河川 BOD の B 類型基準超過地点数			%/年 10 8 6 4 2 0
定義	市内河川で水質調査をしている地点のうち、BOD の B 類型基準を超過した地点数			
数値目標	H30	策定時	9 地点/年	
		R5	実績	
	R5	目標	0 地点/年	
		評価	★: 達成率 33.3%	
		R6	中間目標	
R11	最終目標	0 地点/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	調査の地点数については、同数の調査を行った。BOD の超過については目標値から遠いものとなっている。1 級河川のような大きな河川の水質基準に当てはめて比較管理している。市内の河川は規模が小さいものがほとんどであり、光合成などの影響を受けやすく BOD の値が上がってしまう箇所がある。			

環境指標	生活雑排水処理率			%/年 100 95 90 85 80 75
定義	生活排水処理率の算定式 (水洗人口 - 単独処理浄化槽人口) / 総人口 × 100			
数値目標	H30	策定時	83%/年	
		R5	実績	
	R5	目標	90.5%/年	
		評価	★★★: 達成率 96.8%	
		R6	中間目標	
R11	最終目標	96%/年		
担当課	上下水道課			
R5 評価コメント	令和5年度に合併浄化槽を 40 基設置した。			

【評価(4段階)】 令和5年度の実績対目標

★: 達成率 0~49%、★★: 達成率 50~79%、★★★: 達成率 80~99%、目標達成 : 達成率 100%以上



8 ごみの減量とリサイクルを進める

■ 数値目標と評価

環境指標	1人1日当たりごみ排出量			
定義	市民1人が1日当たりに排出するごみの量			
数値目標	H30	策定時	941g/日・人/年	
	R5	実績	864g/日・人/年	
		目標	903g/日・人/年	
		評価	目標達成: 達成率 200.9%	
	R6	中間目標	895g/日・人/年	
R11	最終目標	850g/日・人/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	ごみの排出量は減少傾向にあり、市民の意識も向上していると考えられる。			

環境指標	マイバッグ持参率			
定義	マイバッグを持参した割合			
数値目標	H30	策定時	88.7%/年	
	R5	実績	83.1%/年	
		目標	89.8%/年	
		評価	★★★: 達成率 92.6%	
	R6	中間目標	90%/年	
R11	最終目標	95%/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	マイバッグを持参する意識はほぼ浸透していると思うが、目標には今一步届かなかった。			

環境指標	給食の残さ率			
定義	給食の残さ率			
数値目標	H30	策定時	2.8%/年	
	R5	実績	12.4%/年	
		目標	1.7%/年	
		評価	★: 達成率-700%	
	R6	中間目標	1.5%/年	
R11	最終目標	1.4%/年		
担当課	学校給食センター			
R5 評価コメント	センターとしては残菜が減らす取組をしているが、家庭や園学校など複合的な問題があるため、センター独自の取組みでは難しい状況である。			

環境指標	不法投棄箇所数			
定義	不法投棄防止パトロールにより、不法投棄が発見報告された箇所数			
数値目標	H30	策定時	68箇所/年	
	R5	実績	47箇所/年	
		目標	36箇所/年	
		評価	★★:達成率 66.3%	
	R6	中間目標	30箇所/年	
R11	最終目標	0箇所/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	市民への注意喚起や町内会の協力により、不法投棄箇所数が年々減少はしているが、山間部での不法投棄数を減らすことが難しい			

環境指標	不法投棄監視パトロール実施回数			
定義	不法投棄防止パトロールを実施した回数			
数値目標	H30	策定時	95回/年	
	R5	実績	37回/年	
		目標	95回/年	
		評価	★:達成率 38.9%	
	R6	中間目標	95回/年	
R11	最終目標	95回/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	御前崎市シルバー人材センターへの委託によるパトロールと職員によるパトロールを実施。予算の関係で回数を減らしている。			

環境指標	道路愛護参加人数			
定義	道路愛護に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	3,199人/年	
	R5	実績	3,414人/年	
		目標	3,200人/年	
		評価	目標達成:達成率 106.7%	
	R6	中間目標	3,200人/年	
R11	最終目標	3,200人/年		
担当課	建設課			
R5 評価コメント	市民意識の高まりもあり、補助金を活用し道路愛護活動を実施する団体が増加したため、目標を達成することができた。			

環境指標	ごみゼロ運動の参加者数			
定義	ごみゼロ運動に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	6,057人/年	
	R5	実績	4,135人/年	
		目標	6,843人/年	
		評価	★★:達成率 60.4%	
	R6	中間目標	7,000人/年	
R11	最終目標	8,000人/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	町内会によっては規模を縮小して実施した地区があり、参加人数が減少している。			

【評価(4段階)】 令和4年度の実績対目標
 ★:達成率 0~49%、★★:達成率 50~79%、★★★:達成率 80~99%、目標達成 :達成率 100%以上



9 地球温暖化を止める

■ 数値目標と評価

環境指標	市有施設からの温室効果ガス排出量			
定義	市有施設から排出されている温室効果ガスの量			
数値目標	H30	策定時	9,112t-CO ₂ /年	
	R5	実績	8,089t-CO ₂ /年	
		目標	8,656t-CO ₂ /年	
		評価	目標達成: 達成率 224.4%	
	R6	中間目標	8,565t-CO ₂ /年	
R11	最終目標	8,110t-CO ₂ /年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	令和5年度の市有施設からの温室効果ガス排出量は、8,089t-CO ₂ 。前年度より369t-CO ₂ 減少した。平成30年度と比較すると、温室効果ガス排出量は、11.2%減少し、目標を達成した。			

環境指標	新エネルギー・省エネルギー機器導入補助件数			
定義	新エネルギー・省エネルギーの機器を購入する際に補助金を交付した件数			
数値目標	H30	策定時	2,566件	
	R5	実績	3,007件	
		目標	3,011件	
		評価	★★★: 達成率 99.9%	
	R6	中間目標	3,100件	
R11	最終目標	3,600件		
担当課	エネルギー政策課			
R5 評価コメント	令和5年度の目標を若干下回ってはいるが、予算上限まで交付することができた。			

環境指標	廃食用油回収量			
定義	市役所本所、支所で回収した廃食用油の合計量			
数値目標	H30	策定時	549kl/年	
	R5	実績	745kl/年	
		目標	592kl/年	
		評価	目標達成: 達成率 126%	
	R6	中間目標	600kl/年	
R11	最終目標	660kl/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	廃油回収の認識が市民に広まり、令和5年度は廃油回収量が増加した。引き続き広報し、周知していく。			

【評価(4段階)】 令和5年度の実績対目標

★: 達成率 0~49%、★★: 達成率 50~79%、★★★: 達成率 80~99%、目標達成 : 達成率 100%以上



10 環境を知る・学ぶ・活動する

■ 数値目標と評価

環境指標	アースキッズ事業参加人数			
定義	小学4年生を対象として実施しているアースキッズ事業に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	891 人	
	R5	実績	1,402 人	
		目標	1,058 人	
		評価	目標達成: 達成率 132.6%	
	R6	中間目標	1,091 人	
R11	最終目標	1,291 人		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	アースキッズ事業に加え市独自の事業として小学4年生を対象に講座を実施し、将来を担う子供たちの主体的な取組となるように地球温暖化、ごみ分別について説明した。			

環境指標	アカウミガメ産卵観察会参加者数			
定義	アカウミガメ産卵の観察会に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	94 人/年	
	R5	実績	0 人/年	
		目標	266 人/年	
		評価	★: 達成率 0%	
R6	中間目標	300 人/年		
R11	最終目標	500 人/年		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	ウミガメの上陸・産卵頭数が減少したため、ウミガメ保護の観点から、産卵観察会という事業自体を中止し、ウミガメ保護監視員によるウミガメ保護活動を見学する事業に変更した。			

環境指標	アカウミガメ放流観察会参加者数			
定義	アカウミガメを放流する観察会に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	165 人/年	
	R5	実績	0 人/年	
		目標	278 人/年	
		評価	★: 達成率 0%	
R6	中間目標	300 人/年		
R11	最終目標	500 人/年		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	ウミガメの産卵個数及びふ化頭数が減少したため、ウミガメ保護の観点から、産卵観察会という事業自体を中止し、ウミガメ保護監視員によるウミガメ保護活動を見学する事業に変更した。			

環境指標	磯の生物観察会・参加者数			人/年 60 50 40 30 20 10 0
定義	磯の生物観察会に参加した人数			
数値目標	H30	策定時	32人/年	
	R5	実績	0人/年	
		目標	39人/年	
		評価	★:達成率0%	
	R6	中間目標	40人/年	
R11	最終目標	50人/年		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	実施なし。			

環境指標	青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」参加者数(小学生)			人/年 60 50 40 30 20 10 0
定義	御前崎クエストに参加した人数(小学生)			
数値目標	H30	策定時	27人/年	
	R5	実績	51人/年	
		目標	38人/年	
		評価	目標達成:達成率134.2%	
	R6	中間目標	40人/年	
R11	最終目標	50人/年		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	これまでの御前崎クエストの活動から、知名度が上がり、参加者が増加したため、目標を達成した。			

環境指標	青少年リーダー育成事業リーダー数			人/年 25 20 15 10 5 0
定義	御前崎クエストのリーダーの数			
数値目標	H30	策定時	8人/年	
	R5	実績	16人/年	
		目標	14人/年	
		評価	目標達成:達成率114.3%	
	R6	中間目標	15人/年	
R11	最終目標	20人/年		
担当課	社会教育課			
R5 評価コメント	令和5年度に中高生向けプログラムが新しく始まり、級別認定対象者が増えたため、目標を達成した。			

環境指標	出前講座回数			回/年 12 10 8 6 4 2 0
定義	温暖化防止・ごみ分別法等の講演会や説明会を開催した回数			
数値目標	H30	策定時	0回/年	
	R5	実績	7回/年	
		目標	4回/年	
		評価	目標達成:達成率168%	
	R6	中間目標	5回/年	
R11	最終目標	10回/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	令和5年度は小学校5件、中学校1件、団体(日本語教室)1件、合計7回出前講座を実施し、目標を達成した。			

環境指標	CATVなどを活用した情報発信回数			
定義	CATVによる文字放送または音声告知を依頼した回数			
数値目標	H30	策定時		1件/年
	R5	実績		2件/年
		目標		2件/年
		評価		目標達成:達成率 109.1%
	R6	中間目標		2件/年
R11	最終目標	4件/年		
担当課	環境課			
R5 評価コメント	令和5年度は環境月間や年末年始のごみの出し方の音声告知を実施し目標達成できた。			

【評価(4段階)】 令和5年度の実績対目標

★:達成率 0～49%、★★:達成率 50～79%、★★★:達成率 80～99%、目標達成 :達成率 100%以上